

みんなで歩いた平和行進



「核兵器の廃絶」と「原発ゼロ」を願う声！！

平和行進は、6月28日（木）に福島県から北茨城市に引き継ぎました。翌29日には北茨城を出発し、7月11日（水）に鹿行地域から千葉県香取市に渡すまでの13日間、県内をくまなく行進しました。

平和行進は、多くの地域で実行委員会等に結集し、協力・共同で進めているのも特徴です。

原水協によると、「行進への参加者数は集計途中だが、昨年参加した2000人以上を上まわっていることは確実」だそうです。

通し行進者は、全国で「米山幸子」さん、県内では渡辺昭七さん（藤代）、高橋邦裕さん（大洗）、川俣久代さん（北茨城から水戸市まで行進）3名、合計4名でした。近頃元気の出る話です。

また水戸市内のパレードも多くの人が参加しました。

鹿行地域では大型バス1台を仕立て、百里平和公園に集合し、50人で出発式。風間実行委員長、加藤原水協会長、通し行進者、梅沢百里基地反対同盟委員長等の挨拶を頂きました。

銚田市（50人）～行方市（40人）を訪問して、潮来市役所の会議室で昼食と交流会を行ないました。午後は潮来市（50人）、次いで鹿嶋市（70人）～神栖市（40人）で終了。午後4時になります。1時間くらいで千葉県香取市役所に40数人で到着。香取市の平和行進実行委員会に引き継ぎました。



百里平和公園で出発式

この夏の「戦争と平和展」開催予定（7月25日現在）

市町村名	開催期間	展示場所	主催
日立大宮市	7月23日(月)～8月3日(金)	大宮市役所エントランスホール	大宮平和の会・新婦人の会大宮支部
小美玉市	7月30日(月)～8月12日(日)	小美玉市役所ロビー	石岡地域平和の会・小美玉市後援
土浦市	7月31日(火)～8月7日(火)	生涯学習センター	「人間と原爆展」土浦実行委員会
城里町	8月4日(土)～8月5日(日)	コミュニティセンターロビー	新婦人の会（やまゆり班）
つくば市	8月4日(土)～8月8日(水)	荖崎ふれあいセンター	荖崎平和の会・新婦人の会荖崎班・荖崎9条の会
常陸太田市	8月7日(火)～8月11日(土)	生涯学習センター	常陸太田平和の会
守谷市	8月9日(木)～8月16日(木)	守谷中央図書館	守谷平和の会・守谷市後援
笠間市	8月7日(火)～8月19日(日)	友部図書館	内原・友部平和の会
石岡市	8月17日(金)～8月19日(日)	石岡市東地区公民館	石岡平和の会
那珂市	8月17日(金)～8月19日(日)	那珂市図書館	那珂市9条の会
阿見町	8月17日(金)～8月30日(木)	本郷ふれあいセンター	阿見町平和の会・阿見町後援
取手市	8月25日(土)～8月26日(日)	取手市福祉会館	取手市平和の集い実行委員会

7.16
東京大集会

「再稼働許さない！」
17万の声響く！



官邸前デモ

「原発事故は人災！」
国会事故調が最終報告



なのに理不尽な大飯原発の再稼働



平和新聞

2012年7月25日（水曜日）
1992号（毎月5,15,25日発行）

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
（郵送料月額120円） 電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

平和かわら版 平和新聞茨城版 No. 630

2012.7/25
発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

元気いっぱい！！

日本平和委員会全国大会(6/30～7/1)



日本平和委員大会出席の代表理事
右から伊達・水野・植田の各氏

第62回日本平和委員会定期全国大会は、6月30日(土)～7月1日(日)、東京・日本青年館で開催されました。会場は明治公園の一角で、6月23日(土)に「消費税増税反対国民大集会」が開催され、全国の参加者が「民・自・公」の密室談合による消費税増税への怒りを表明した場所でした。

茨城県からは、水野映一郎さん(日本平和委員会常任理事)、植田金雄さん、伊達郷右衛門さん(以上、県代表理事)、加藤岑生さん(常任理事)、木村泉さん(事務局長)の5人が参加しました。

大会では、千坂事務局長の力強い経過報告、当面する課題と活動方針の提案のあと、討論に入りました。加藤さんが東海第二原発の現状と「4.1県民集会」、「東海第二原発廃炉署名」等のたたかいで、県知事に東海第二原発の廃炉を迫っていることを発言しました。

水野さんは日本平和委員会の「組織強化委員長」の立場で、全国の仲間が組織拡大に立ち上がり、和歌山県のように200人の新会員を獲得したことなど、増勢に転じつつあることを報告、いっそうの活動強化を要請しました。

終了後宿舎に異動し、夜の全国交流会に参加し、楽しい時間を過ごしました。かつて百里基地反対闘争の弁護士であった内藤功弁護士(代表理事)の希望があり、裁判闘争当時作成され、みんなが歌った「百里」の歌を、県平和委員会の仲間と一緒に熱唱しました。

終了後、佐藤光雄代表理事の部屋でいろいろな話を聞くことができたことも、大きな収穫でした。来年はもっと多くの県の仲間と参加したいと思いました。

2日目は今回初めての試みとして分科会形式で活動の交流や討議を行ない、今後の取り組みの強化を誓いあいました。(茨城関係の詳細は「平和新聞」7月15日号、4面9面を参照)。

東海第二原発の廃炉を求める意見書・決議を可決した県内市町村議会



生きる力の大切さ！

最近の新聞記事で「公立小中学校の非正規教員は全体の16%」という数字をみて、大変ショックを受けました。

子どもにとって先生との出会いは、一生を左右するほどの影響力を持っています。その先生が明日への不安を抱えながら教壇に立っているとしたら、子どもたちにどうやって「生きる力」「希望を持つことの大切さ」を伝えることができるのでしょうか？

人は、自分が大切にされていると実感できてはじめて自信を持ち、前に進めるのです。それは大人も子どもも同じです。平和な社会とは、生まれ育った町や自然、出会ったもの全てを愛おしく思える世の中でなくてはなりません。未来をつくる子ど

【シリーズ】わか街・わか会員

取手市／丸山 俊介さん (茨城労連事務局長)



運動が広げられる
今を大切に



滋賀県大津市の中学生のいじめ自殺問題に胸が痛みます。先日ラジオで、「子どものいじめ問題は社会を映しだしている」と言っていた話が印象に残りました。今、社会で行われている弱者いじめは「原発再稼働」「オスプレイ配備」「消費税増税」「社会保障改悪」「TPP参加」「生活保護者」「国家公務員給与削減」等々、挙げればきりがありません。こうしたいじめに対しては、子どもの場合も、大人の社会でも「おかしい事はおかしいと」一人でも多くの人が声を上げる事が大切だと思います。

「原発再稼働反対」の運動は、6/29に首相官邸前に、20万人が押し寄せました。さらに、7/16には東京代々木公園に17万人が結集し「脱原発集会」が成功しました。茨城でも4/1に「さよなら原発4・1大集会in いばらき」が、多くの方の協力の下、成功しました。こうした運動が広げられる今を大切に、積極的に関わりたいと思います。

みとみなみ平和の会 安本 真理子



もたちが、どれだけそのような体験をしているのでしょうか。今私たち大人がすべきことは、原発の再稼働でも、増税でもありません。政治家のまやかしのことばに騙されない力をつけ、「平和憲法が活かされる社会を」と世論をつくり、実際に舵を切らせること。それが未来に責任を持つことだと思います。今こそ人と人との繋がりを大切にして、平和を求める多くのひとに呼びかけることが急務となっています。平和委員会の出番です！

【本稿は、県平和委員会再建20周年リーフレットにお寄せいただいたメッセージから引用しました。】